

# 自己改革工程表

## 1. 営農指導事業（営農部）

| ビジョン                         | 重 要 施 策   | 行 動 計 画   |
|------------------------------|---|---|
| <p>組合員の営農を守る「持続可能な農業」の実現</p> | <p>1. 「梨北農業づくり」の実践による農業生産の拡大</p> <p>(1) 地域農業の基盤となる地域に根付いた「担い手」の育成<br/>           (多様な担い手：ベテラン農家・兼業農家・農地委託農家)<br/>           (担い手経営体：大規模農家・法人・集落営農)</p> <p>(2) 地域農業を維持する「栽培技術」の伝承</p> <p>(3) 選ばれる産地を目指す「売れるものづくり」の推進</p> <p>2. 農地継承の円滑化による農地フル活用の実践</p> <p>(1) 農業の多面的機能を維持する「農地」の保全</p> <p>(2) 地域コミュニティによる「メンバーシップ」の強化</p> | <p>① 地域の担い手とのパートナーシップの強化</p> <p>② 女性の担い手の視点を地域農業に反映</p> <p>③ 生産現場の世代交代による新たな担い手に対するサポート</p> <p>④ 経営環境の変化に即した担い手への支援</p> <p>⑤ 営農指導員のスキルアップによる担い手の育成</p> <p>⑥ 担い手のスキルに合わせた巡回型営農指導</p> <p>⑦ 営農指導員の広域的専門体制による対応</p> <p>⑧ 営農指導員の育成による地域密着型営農指導の実践</p> <p>① 新たな担い手に「土づくり」の基礎知識を指導</p> <p>② 先進的栽培技術の指導および低コスト生産技術の普及</p> <p>③ 「2畝3畝農業」による多様な担い手の育成</p> <p>④ 「見える営農指導・伝える営農指導」による栽培技術の指導</p> <p>⑤ 持続可能な環境保全型農業の推奨</p> <p>⑥ 「気象に打ち勝つ農業」への取り組み</p> <p>⑦ 営農指導員日誌による地域に特化した栽培技術の可視化</p> <p>⑧ JA梨北メール配信サービスによるリアルタイムな情報の発信</p> <p>⑨ 最先端技術の導入による優良素牛の確保</p> <p>① 農政改革の水田フル活用に対応した「売れる米づくり」</p> <p>② 利用者目線を重視した「売れるものづくり」</p> <p>③ 『りほく堆肥“土の里”』を使用した「こだわり農産物」の生産</p> <p>④ 地域に根付いた担い手の栽培技術に基づく契約栽培</p> <p>⑤ 『梨北さんち』シリーズによる「つくること」の楽しみの提案</p> <p>⑥ 「2畝3畝農業」による農産物直売所への出荷</p> <p>① 農地の重要性・必要性に関する情報発信</p> <p>② 農作業受委託事業の円滑化による農地の保全</p> <p>③ 農業経営事業による農政改革に対応した品種の模索</p> <p>④ 農地中間管理機構（農地利用集積円滑化団体）と連携した農地の保全</p> <p>⑤ 地域の担い手とのパートナーシップによる耕作放棄地の解消</p> <p>⑥ 鳥獣害防止対策による栽培環境の保全</p> <p>① 行政と連携した地域農業振興</p> <p>② 担い手経営体と連携した地域農業振興</p> <p>③ 生産部会と連携した基幹作物の生産振興</p> <p>④ 多様な担い手による協同活動の展開</p> <p>⑤ 多様な担い手と担い手経営体をつなぐ役割の発揮</p> |

# 1. 営農指導事業（営農部）

| ビジョン   | 重 要 施 策  | 行 動 計 画  |
|--|--|--|
| <p>の<br/>社<br/>会<br/>達<br/>に<br/>対<br/>す<br/>る<br/>農<br/>業<br/>の<br/>逼<br/>迫<br/>状<br/>況</p> | <p>3. 生消連携による国産農畜産物の重要性の共有<br/>           (1) 日本農業の重要性の認識による「リスク」の回避</p> <p>(2) 「安全・安心」な「食」の提供</p> | <p>① T P P が及ぼす日本農業の危機的状況の認識<br/>           ② 中山間地域の農業および家族農業に対する国策の要請<br/>           ③ 日本の「食」を外国に委ねる危険性の提唱<br/>           ④ 農政改革が及ぼす米産地への影響の認識<br/>           ⑤ 自己改革の実践および進捗管理</p> <p>① 生産サイドと消費サイドの相互理解<br/>           ② 農産物認証制度取得による「安全・安心」の可視化<br/>           ③ G A P（農業生産管理工程）による「安全・安心」の共有<br/>           ④ 担い手の高齢化に対応した適正な飼養管理<br/>           ⑤ コンプライアンス・マニュアルおよび個人情報取扱規程に則した業務<br/>           ⑥ コンプライアンスおよび利用者保護に関する教育研修</p> |

## 2. 販売事業（営農部）

| ビジョン                 | 重 要 施 策   | 行 動 計 画  |
|----------------------|---|--|
| 生産者とのパートナーシップによる販売戦略 | <p>1. 「梨北ブランド」の展開による生産者所得の向上</p> <p>(1) 生産物統一ブランド『メイドイン梨北』の全国的展開</p> <p>(2) 『梨北米』ブランドの全国的アピール</p> <p>(3) 生産物の自然の姿を伝える『マルシェ梨北』</p> <p>(4) 『梨北さんち（産地、〇〇さんのお宅）』シリーズによるイメージ戦略</p> | <p>① 「産地ブランド」と『メイドイン梨北』の相乗</p> <p>② 出荷資材による『メイドイン梨北』の全国的アピール</p> <p>③ 『メイドイン梨北』の産地イメージによる有利販売</p> <p>④ 最上級品の称号『メイドイン梨北エクセレント』の付加価値販売</p> <p>⑤ 生産者とのパートナーシップによる『メイドイン梨北』の展開</p> <p>① 「特A」評価による“おいしい米”『梨北米』のイメージの定着</p> <p>② 山梨県を連想させる特別栽培米『梨北信玄米』の付加価値販売</p> <p>③ ネット空間による『梨北米』の全国的アピール</p> <p>④ 家庭用『梨北米』・酒造好適米『梨北米』・外中食用『梨北米』の相乗</p> <p>⑤ 『梨北米』の6次産業化商品による多彩な展開</p> <p>① 「安全・安心・新鮮」のシンボル『マルシェ梨北』の浸透</p> <p>② ネット直売所『マルシェ梨北』による「見えない利用者」へのアピール</p> <p>③ 軽トラ市『マルシェ梨北』による生産者と消費者の交流</p> <p>④ 地産地消による「産地が見える安全・安心」の提供</p> <p>⑤ 「廃棄ゼロ」を目指すコミュニティビジネスの展開</p> <p>① 『梨北さんち』のカラフルシリーズによるインパクト</p> <p>② 『梨北さんち』シリーズによる「見て・作って・楽しむ食」の提供</p> <p>③ 『梨北さんち』のアピールによるJ A梨北のイメージアップ</p> <p>④ 『梨北さんちのおかず』による地産地消</p> <p>⑤ 『梨北米』にこだわる食事処『梨北さんち』の店舗づくり</p> |
| プロダクトアウトからマーケットインへ移行 | <p>2. 「つくったものを売る」から「売れるものをつくる」への転換</p> <p>(1) 米産地の生き残りをかけた『梨北米』の新たな需要開拓への挑戦</p> <p>(2) 付加価値の増大による「売れるものづくり」の追求</p> <p>(3) マーケットインによる「選ばれる農産物直売所」の実現</p>                       | <p>① 「おいしさ」にこだわる家庭用『梨北米』の新たな需要開拓</p> <p>② 『りほく堆肥「土の里」』を使用したこだわり米『梨北信玄米』の県外進出</p> <p>③ 外中食用『梨北米』による新たな販売チャネルの確保</p> <p>④ 酒造業者と提携した「酒造好適米」の契約販売の拡大</p> <p>⑤ ニーズに合わせた「紫黒米」の安定供給</p> <p>⑥ 『梨北米』限定で加工した米粉商品の拡販</p> <p>① 利用者目線を重視した「売れるものづくり」への挑戦</p> <p>② 未来の「安全」を守る国産農畜産物の付加価値販売</p> <p>③ 耕畜連携ストーリーをアピールした「こだわり農産物」の販売</p> <p>④ 女性の視点を活かしたパッケージおよび販売戦略</p> <p>⑤ 情報の入手による需要時期を先読みした有利販売</p> <p>⑥ 産地をアピールした契約販売による農業生産の拡大</p> <p>⑦ 有利販売・販売コストの軽減を目的とする共選場所の集約</p> <p>① M V F（私のお気に入り生産者）を介した生産者と消費者の意識の融合</p> <p>② 「今摺り米」による新鮮な『梨北米』の提供</p> <p>③ 消費者の購買意欲を掻き立てる「旬」を感じる店舗づくり</p> <p>④ 農産物直売所の特性を発揮する生産物のアピール</p> <p>⑤ 生産者に対する「売れるものづくり」の啓蒙</p> <p>⑥ 地産地消を基軸としたコミュニティビジネスの発掘</p> <p>⑦ コンプライアンスを重視した品質管理および適正表示</p>                             |

### 3. その他営農関連事業（営農部）

| ビジョン                   | 重 点 施 策  | 行 動 計 画   |
|------------------------|--|---|
| <p>組合員の営農を支える施設の運営</p> | <p>1. 地域農業を支援する「省力化」の提供</p> <p>(1) 地域農業の高齢化に対応する育苗センターの運営</p> <p>(2) 共乾施設の利用による『梨北米』の品質の平準化<br/>(カントリーエレベーター・ライスセンター)</p> <p>(3) 耕畜連携の原点となる『りほく堆肥“土の里”』の生産管理（有機センター）</p> <p>(4) 専用プラントによる異品種混入リスクの回避</p> | <p>① 利用事業施設運営委員会による生産現場の「声」の反映</p> <p>② 生産コストおよび環境負荷を軽減する温湯消毒の促進</p> <p>③ 広域的品種別育苗センター構想による異品種混入防止対策</p> <p>④ 生産者の高齢化に伴う利用の増加に対応した安定供給</p> <p>⑤ 育苗センターの利用による労働力の軽減</p> <p>⑥ 水田フル活用に対応した設備投資</p> <p>① 「売れる米づくり」に対応した広域的品種別共乾施設構想</p> <p>② 施設別取扱品種の集約による異品種混入リスクの回避</p> <p>③ 共乾施設の均一調製による品質の平準化</p> <p>④ 共乾施設の利用による労働力の軽減</p> <p>⑤ 米産地を維持するための設備投資</p> <p>① 環境に配慮した製造工程の遵守</p> <p>② 耕畜連携の基礎を支える設備投資</p> <p>③ 『りほく堆肥“土の里”』による生産コストの低減</p> <p>④ 「こだわり農産物」の原点となる製造量の確保</p> <p>① 黒米プラントによる「紫黒米」の安定供給</p> <p>② 種子プラントの全利用による優良種子の確保</p> <p>③ 国産大豆の需要に即した生産拡大に対応する大豆プラント</p> <p>④ 国産小麦「ゆめかおり」の生産拡大に対応する小麦プラント</p> |

#### 4. 購買事業（経済部）

| ビジョン                         | 重 要 施 策   | 行 動 計 画  |
|------------------------------|---|--|
| <p>「持続可能な農業」を支える生産資材事業</p>   | <p>1. トータルコスト低減および利便性を追求する生産資材事業</p> <p>(1) 利便性を求める多様な担い手（ベテラン農家・兼業農家・農地委託農家）の対応</p> <p>(2) 担い手経営体（大規模農家・法人・集落営農）のニーズに合わせた個別対応</p> <p>(3) 生産資材専門店『JAグリーンりほく』の優位性の発揮</p> | <p>① J A 梨北メール配信サービスによる生産資材情報の提供</p> <p>② 仕入先の有利性判断による生産資材価格の引き下げ対策</p> <p>③ 営農指導と連携した低価格生産資材・省力生産資材の提供</p> <p>④ 多様な担い手のニーズに対応した価格体系および営業体制</p> <p>⑤ 新規就農者・認定農業者をターゲットとした事業クロスセル</p> <p>⑥ 生産現場の世代交代および農業環境の変化に対応した相談サービス</p> <p>⑦ 農業収支の記帳・帳簿等の保存義務に対応する帳票の提供</p> <p>① 担い手経営体ごとの営農形態に即したサポート</p> <p>② 取引条件に応じた弾力的な生産資材価格の設定</p> <p>③ 担い手経営体専任担当者によるアップセル</p> <p>④ ファンド・リース・融資を活用した設備投資の提案</p> <p>⑤ 企業を含むニューパートナーに対する出向く体制</p> <p>① 生産資材専門店の特長（高品質な品揃え等）をアピール</p> <p>② ポイント還元による特典およびクレジットカード対応による利便性の提供</p> <p>③ 利用者ターゲットを明確にした売り出し・イベントによる集客</p> <p>④ 「営農情報ネットワーク」を活用した相談業務の充実</p> <p>⑤ 栽培ステージを先行した営農情報の発信</p> |
| <p>「いのち・暮らし・地域」を守る生活関連事業</p> | <p>2. 地域の生活インフラ機能を支える生活関連事業</p> <p>(1) J A トータル利用で“お得な”燃料事業</p> <p>(2) 「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現するための支援</p> <p>(3) 地域に遍く対応する高齢者への支援</p>  | <p>① L P ガス安全化システム『ガスキャッチ』による商系業者との差別化</p> <p>② J A - L P ガス保安センターの24時間監視による「安心」の優位性</p> <p>③ 震災時でも確保しやすいL P ガスの利便性のアピール</p> <p>④ 燃料事業の複数取引割引によるニューパートナーの獲得</p> <p>⑤ ホームエネルギー関連機器の拡販</p> <p>① 生産者の「声」を反映した農作業用品の提供</p> <p>② 利用者の健康志向に対応する生活用品の提供</p> <p>③ 災害に備える生活用品の提供</p> <p>④ 「安全・安心」を備えた豊かな「食」の提供</p> <p>⑤ 暮らしやすさと省エネルギー対策を備えた住環境の提案</p> <p>① 「安全・安心・暮らしやすさ」を提案する“小さなリフォーム”</p> <p>② 高齢者の負担をサポートする生活用品の提供</p> <p>③ 高齢者の暮らしを守る食生活の支援</p> <p>④ 高齢者に対する気配りサービスの充実</p>   |

#### 4. 購買事業（経済部）

| ビジョン   | 重 要 施 策  | 行 動 計 画  |
|--|--|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域コミュニティの拠点となるセンターの運営</p> | <p><b>3. センターによる利用者視点のサービスの提供</b></p> <p>(1) 農機センターのアフターサービスを付加価値とする販売</p> <p>(2) 自動車センターによる利用者層の拡大</p> <p>(3) 女性の「声」を反映させた食材センター</p> <p>(4) 配送センターと支店の連携による利用者ニーズへの対応</p> | <p>① 一支店複数担当制による充実したサービス体制</p> <p>② 専任スタッフ（農業機械整備士）による利用者満足度の向上</p> <p>③ 担い手経営体をターゲットとした大型農業機械の提案</p> <p>④ 営農形態に合わせた小型・中型農業機械の提案</p> <p>⑤ 展示会・JAまつり等による商品の展示販売</p> <p>① 各種メーカーの情報および商品の一元化対応</p> <p>② マスター登録システムによるアフターサービスの充実</p> <p>③ 専任スタッフの事業クロスセルによる総合サービスの提供</p> <p>④ 支店との情報共有による営業活動</p> <p>⑤ 展示会・JAまつり・キャンペーン等による商品の展示販売</p> <p>① “忙しいあなた”に食材選択品目コースメニューの提案</p> <p>② 食材『ふれあいチョイス』によるニューファミリーの獲得</p> <p>③ 「JA梨北オリジナル注文書」による食品の拡販</p> <p>④ 『梨北さんちのおかず』による豊かな「食」の提供</p> <p>⑤ 自宅お届けシステムを好む次代の女性層に対するアプローチ</p> <p>① 農繁期における支店の生産資材在庫の充実</p> <p>② 支店と連携した拠点化構想による農繁期の休日対応</p> <p>③ 備車（契約車両）の有効活用による流通コストの削減</p> <p>④ 利用者ニーズに合わせた配送サービス</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">業務体制の整備による利用者保護</p>       | <p><b>4. 業務体制の整備による「信頼」の確保</b></p> <p>(1) 業務の効率化および健全性の確保による事業基盤の拡充</p> <p>(2) 自己改革を実践するための「人づくり」</p> <p>(3) コンプライアンスを重視した業務の遂行</p>  | <p>① 購買事業システムのカスタマイズによる業務の効率化</p> <p>② 代金回収方法まで想定した提案型推進による商品の提供</p> <p>③ 購買未収金回収管理・固定化未収金保全対策による健全性の確保</p> <p>④ 法定点検の適正な実施</p> <p>⑤ 自己改革の実践および進捗管理</p> <p>① 職員のスキルアップによる適正な業務</p> <p>② 事業クロスセルを意識した営業力のアップ</p> <p>③ 生産現場の世代交代および利用者の高齢化に伴う相談対応</p> <p>④ 購買事業の運営に必須となる資格の取得</p> <p>① コンプライアンス・マニュアルに則した業務の遂行</p> <p>② 個人情報取扱規程を遵守した利用者の保護</p> <p>③ 独占禁止法に則した推進業務</p> <p>④ 毒物・劇物に関する適正な業務</p> <p>⑤ コンプライアンスおよび利用者保護に関する教育研修</p>   |